

## 5. 食育劇「ご老公 食育漫遊記 ～元禄松戸村～」

市民に食の大切さや食を大切にする行動をメッセージとして発信するために、食育劇を企画し、松戸市民劇団オリジナルの脚本で松戸市民劇団、市職員、聖徳大学美術部で協力し、平成20年2月7日の「食のウインターフェアin松戸」で上演しました。

( コ ン セ プ ト )

基本テーマ	テーマに関連するオプション（素材）	味付け、色づけ	メッセージとして発信したいこと
☆栄養バランス ☆子どもの食習慣 ☆成人病予防	◎栄養素と関連づけて地場産野菜等の美味しい食べ方 ・ネギ、カブ、白玉、梨、山崎パン等  ◎早寝・早起き・朝ごはん ・子どもだけでなく、万人に共通しそうな基本形、成人病予防にも繋がる  ◎三食になったのは、いつから？ ・天皇の日常の食事、朝夕2回（源氏物語）等、古くは2食、現代は3食  ◎食の生産、流通 ・食へることは生き物から命をもらうことであり、色々な人の手を伝って流通する  ◎食に関する言葉の歴史、語源、用語 例：朝食＝朝餉（あさげ）、夕食＝夕餉（ゆうげ）	◎今昔比較（歴史） ◎地場産品のPR	☆食の大切さ  ☆食を大切にする行動

キーワード スタート（導入）orエンディングで使用
◎あたり前から、あらためて  ◎食という字は、 <span style="font-size: 1.5em;">人</span> <span style="font-size: 1.5em;">良</span> } 人を良くすると書く

：あらすじ

時代は、江戸元禄。メタボリックシンドロームに陥った松戸の代官のうわさを聞きつけて水戸のご老公が松戸村へ一喝するためやって来る。外食ばかりで栄養バランスの悪い食事、暴饮暴食、運動不足、過剰なダイエット、家族ばらばらでの食事など悪い食習慣を代官と妻ともども反省し、食の大切さを見直し、生活を改めることとなるという話。劇中、スライドで小金牧、野馬土手、子和清水、矢切の田園風景を紹介し、郷土の紹介も併せて行う。



●キャスト

台本作成・語り部	市民劇団	石上環美子
ご老公	女性センター	向後大
八兵衛	健企画	関口貴之
代官	市民劇団	込山章基
奥方	市民劇団	奥田富子
上総屋	市民劇団	武藤武久
武士	市企画	山屋 武



●舞台背景 (聖徳大学美術部 製作)

- ①道中の風景 (松 カラス お地藏さん)
- ②茶店・代官署の門 (左茶店・中央と右代官署の門)
- ③代官署・座敷 (書院造り・掛軸・違い棚)



●劇中歌 オールドメン (「ヤングマン」の替え歌)

オールドメン さあ気をつなよう

すばらしい O・M・C・A O・M・C・A

オールドメン 今なら聞こう

憂鬱など吹き飛ばして みなで踊んじやよー

オールドメン もうメタボなんて言わせぬぞ

そうさ O・M・C・A O・M・C・A

オールドメン ほろ踊んじや

年寄りだってやめたいこと いっぱいあるんじやよー

オールドメン わの行く先に

控えおろう この食育コマが 目こらんか〜

オールドメン 元気が待っているんじやから

ウァッ ハッ ハッ ハッ ハッ ハッ

すばらしい O・M・C・A O・M・C・A

臆れど吹き飛ばせば 皆も元気になる

そうさ O・M・C・A O・M・C・A

年寄りだってやめたいこと いっぱいあるんじやよー

